

るすつ子どもセンターぽっけ

■所在地	北海道虻田郡留寿都村字留寿都185番地29	■木材使用量	519.75m ³
■設置者	留寿都村	うち地域材	430.9m ³
■構造	木造平屋建	■使用樹種	構造 カラマツ
■延床面積	1,499.75 m ²	内外装	カラマツ、カバ



◆施設の概要

保育所、子育て支援センター、放課後児童クラブ及び小型児童館の機能を持つ地域の児童福祉中核施設であり、市街地中心部に建設された利点を活かし、子どもと地域住民との交流機会の確保や、施設の空き時間を地域住民へ開放することにより、福祉の増進とコミュニティ形成維持を図ります。

◆工法等の特徴

自然に囲まれた留寿都村の森をコンセプトとし建築し、構造材の一部に村有林から伐採したカラマツ、フローリング材には留寿都村産のカバ（樺）を用いており、地元産木材を積極的に活用しています。建設に当たっては、集成材見学会や植樹会の開催により、建設過程に子ども達が関わることで施設に愛着を持ち、日々の生活において木の必要性を学び、木の香りやぬくもりに触れることで心身ともに健やかに過ごせる環境を提供するものです。

また、暖房設備には地中熱ヒートポンプ、換気設備に地中熱を利用するアースチューブを採用し、施設全体の断熱強化などにより気密性を図り、給湯の補助機能として太陽集熱器を設置し、再生可能エネルギー利用型の施設となっています。

◆整備に当たり苦慮したこと

建物の構造は柱・梁部材に構造用集成材を使用し、木質2方向ラーメン構造（サミットHR工法）で接合金具が露出しない構造としています。多くの部分が構造用単板積層材あらゆる仕上げとなったため、内部間仕切り壁及び建具が直接取合うため柱の位置や建入れ施工の精度に苦慮しました。

◆利用者の声

「木の香りが良い。」「木造で天井が高く開放感があり、子ども達がのびのび過ごせる環境である。」「フローリング床で子どもたちは裸足で走り回ることができ健康的に過ごすことができる。」との意見が寄せられています。